



International Organization of Securities Commissions  
Organisation internationale des commissions de valeurs  
Organização Internacional das Comissões de Valores  
Organización Internacional de Comisiones de Valores  
المنظمة الدولية لهيئات الأوراق المالية

IOSCO/MR/36/2022

2022年11月16日

## **IOSCO は、ディスカッション・ペーパー「COVID-19 による市場ストレス下における社債市場の流動性要因」に関するフィードバックステートメントを公表**

証券監督者国際機構 (IOSCO) は本日、2022年4月に公表したディスカッション・ペーパー「COVID-19による市場ストレス下における社債市場の流動性要因」へのコメントを要約したフィードバックステートメントを公表した。

本ステートメントとあわせて、報告書「ファンドの流動性リスク管理改善のための提言の実施状況に関するテーマ別レビュー」が公表されている。

本ステートメントは、社債市場における市場機能と流動性供給の改善に資すると考えられる手法に関して、ステークホルダーの見解を要約したものである。これには、特にストレス時における流動性需要の急激な変化の軽減及び流動性供給サイドの市場制約の緩和に係る実現可能性、利点及びコストに関する評価が含まれている。

また、本ステートメントには、2022年6月に開催されたIOSCO及び経済協力開発機構 (OECD) による社債市場に関する共同カンファレンスの結果も反映されている。

ステークホルダーから寄せられたフィードバックは、ディスカッション・ペーパーが提示した結果や見解と概ね整合しており、社債市場における流動性供給の改善に向けた作業の継続を支持するものであった。他方で、シルバートレット(確実な解決策)は存在しないという指摘も見られた。こうした指摘は、株式等の他の大規模で成熟した市場と比較して、社債の取引頻度は平時であっても少ないという事実を反映している。

とはいえ、ディスカッション・ペーパーにおいて提示されたエビデンスや寄せられたフィードバックは、市場機能と流動性供給には改善余地があることを示唆している。

IOSCOは、健全な国際資本市場を促進するというマニフェストとの整合性の上でも、社債市場の流動性を高めることの重要性を認識している。同時に、社債市場には、ストレス時の流動性供給を脆弱にしうる固有の要因があることも認識している。

ディスカッション・ペーパーから得られた知見と寄せられたフィードバックは、IOSCOが現在行っている社債セクターのレビューや、ストレス下の市場機能の改善や流動性供給の強靱化のための手法に関する今後の検討に資するものである。IOSCOは今後策定される2023-2024年の作業計画において、必要に応じて他の国際機関と調整を行い、流動性供給改善のための更なる作業の範囲を特定する予定である。

IOSCO代表理事会議長のジャン・ポール・セルベ氏は、「IOSCOは、ノンバンク金融仲介の強靱性を向上させるため、金融安定理事会(FSB)が主導するグローバルな取組みを引き続き支持する。銀行セクター外での信用仲介の著しい成長は、市場インフラ機能の維持及び、需要サイドと供給サイドの双方における市場流動性が、金融システムによるショックの吸収キャパシティにとって、極めて重要であることを強調している。これまでの国際政策では、主にストレス下での流動性需要の抑制に焦点が当てられてきた。国際的な規制当局コミュニティ同士が協力し、特にストレス下での流動性供給と市場機能を改善する手段を検討することも重要だ。」と述べた。

NOTES TO THE EDITORS については省略。